
一般社団法人 全国さく井協会 平成 30 年度臨時社員総会 いい井戸の日 2018 in 近畿 盛会裏に終了

平成 30 年 11 月 8 日に、大阪市のホテルメルパルク OSAKA において 191 社（委任状含む）の参加で、平成 30 年度 全国さく井協会 臨時社員総会及びいい井戸の日 2018 in 近畿 テーマ『oh, 水の都 大阪』が開催された。

臨時社員総会において、脇雅史会長より「井戸は国民の生活の大事な部分を占めている。井戸について一般の方に理解してもらいたい。いい井戸の日のイベントはそのためにあり、大きな成果を出すよう期待している。我々も積極的に情報を発信し、会員の皆さんの知識を活かせるよう更に努力していきたい」と挨拶があった。



臨時総会で挨拶する脇雅史会長

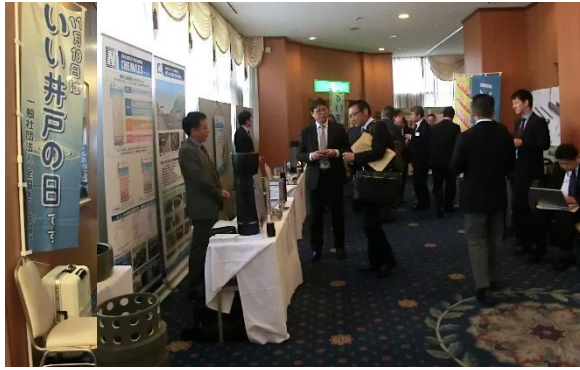


臨時総会会場

議案では前期（4～9 月）事業報告が原案通り承認された。その中には、さく井・改修工事標準歩掛資料（平成 30 年度版）が発行されたこと、地下水利用設計管理技術者資格制度の準備が進んでいることなどの説明があった。また、新規入退会各社の紹介があり、会員数は正会員 229 社、賛助会員 85 社、計 314 社となった。

いい井戸の日 2018 in 近畿を開催し、展示ブースコーナーでは 33 の企業や団

体が自社の製品や技術を紹介し多くの参加者で賑わった。記念講演会では、大阪府危機管理室防災企画課 宍戸英明氏より「大阪府における災害リスクとその備えについて」という演題で、大阪府北部を震源とする地震の様子、大阪府地震防災アクションプランとその進捗状況、南海トラフ地震への対応体制の強化、特に訪日外国人への対応が必要と強調された。元二子山部屋の三杉里公似氏は「相撲における心技体」と題し、持参された化粧まわし、しめこみを参加者に実際に付け（付けてもらった方の感想は“重い！”）、実物の行事軍配、拍子木を披露され「今日お話したことを理解して楽しく相撲を観てほしい」と締めくくられた。参議院議員の高木かおり氏は、初登院のエピソードや現在取り組んでいる政策などを紹介し「国会に関心をもってほしい」と訴えられた。会場では 100 名を超える方が興味をもって拝聴した。



賑わうブース



説明に聞き入る来場者

午後 6 時より同ホテル会場内において 165 名の参加のもと懇親会が開かれ、脇雅史会長が「皆様のおかげで盛大なイベントとなった」と挨拶があり、その後田中良昭近畿支部長から



懇親会で挨拶する田中良昭支部長

「“さく井”はさくいと言われさくせいと読んでもらえない。さく井の字を覚えてもらえるよう努力していきたい」と挨拶があった。高木かおり氏が乾杯の音頭をとり、歓談に入った。アトラクションでは芸子さんの舞踊などが披露され、会場は大いに盛り上がった。

最後に、次回開催地の四国支部の方々がステージに上がり「次回は高知で皆さんをお待ちしております」と締めくくった。

翌日は、懇親ゴルフは茨木カントリークラブで 41 名が参加し行われた。観光は宇治平等院と伏見地区を訪ねた。

臨時総会、いい井戸の日 2018 in 近畿、懇親会、ゴルフコンペ・観光にご参加頂きました皆様お疲れ様でした。また、近畿支部の皆様及び、いい井戸の日 2018 in 近畿 実行委員会の皆様には準備から当日の会場設営など大変お世話になり改めてお礼を申し上げます。